

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成27年4月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は4から6に増加。「減少した」業種は4から7に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は7から5に減少。「減少した」業種は7から14に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は2から0に減少。「悪化した」業種は7から13に増加。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は5から6に増加。「減少した」業種は7のまま変化なし。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は3から11に増加。「減少した」業種は15から13に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は4から8に増加。「悪化した」業種は13のまま変化なし。

製造業

豆腐製造

【県内全域】

先月と同様大豆の消費は低迷しているように見受けられる。小規模豆腐店の廃業が変わらず一定数見受けられる。それに対し、創業者の数は依然として少ない。

酒類製造

【県内全域】

平成27年度3月末で販売店主の高齢化が進み、廃業する販売店が数件ある。

牛乳小売

【県内全域】

消費税増税後の落込みの影響から脱し、好転の傾向も見えつつあるものの好転したとまでは言えない。

印刷

【県内全域】

景況の変化について、4月の県内組合員受注売上は、3月と比較して若干減少した模様です。3月は年度末に向けての受注に加え、県内各地域で統一地方選挙に係る立候補者や政党からの仕事も活発に動きました。各学校関連や季節需要商品の印刷物、卒業・入学・就職に向けて消費喚起目的の商業印刷物が動きました。4月はその反動と円安による相次ぐ値上げで需要が低迷し、商業印刷物の受注が落ち込

んでいます。

電気鍍金

【県内全域】

景況は二極化してきている。めっきの種類により極端に増加している企業と、その反面減少傾向の企業がある。

鉄工

【千葉】

景況の変化について、当組合の事業所動向調査結果について(毎年4月、10月実施、全組合員29社回答)。「景況感」「受注・販売」「設備操業度」等の主要指標がそろって悪化とすることで、円安に起因した仕入価格上昇もあって、「収益状況」悪化するなど、後退した調査結果となった。

機械部品製造

【野田】

景況の変化について、操業度が増して来ている状況にある。

機械部品製造

【流山】

現在変化はないが、モノづくりに補助金の申請に取り組む企業が数社あり、景況に変化が起きるのではないかと。

機械部品製造

【柏】

景況の変化は、特に自動車関連の受注低迷したまま戻らず。年度が変わり、4月、5月、6月はスロー(物の動きが低調)業界動向は、得意先との取引関

係の変化（内製化・海外生産）により、方向性・技術の構築の再検討が必要。

■金属製品製造

【船橋】

年度末に向けて一時的な回復感がありましたが、新年度に入り落ち着き加減で先行きが不透明な状況。

■採石業

【県内全域】

景況の変化について、出荷は先月並であったが、全体的に出荷数が減少している。油の価格が高騰傾向にある。組合の事業活動等について、経済の好況について、燃油価格の引き上げが予想されるなど、今後の見通しがつかない。

■土砂採取

【県内全域】

業界の景況は、前月比では不変が概ね8割程度、悪化が2割程度の状況で、前年同月比では、不変が概ね7割程度、悪化が3割程度の状況。

■非製造業

■総合卸売

【千葉県・東京都】

周辺工場・サービス業などの雇用増加により、売上・収益の増加があまりない中であって、卸団地企業のパート・アルバイト従業員の人件費が少しずつ上

昇している。

■食肉卸売

【千葉市他】

牛、豚ともにと畜頭数の減少が続いており、このため枝肉販売価格は高止まりしているが、畜場はと場使用料収入が減少している。

■建築材料卸売

【県内全域】

景況の変化は、悪い。今年来年は回復が難しい。前年より数量減必至。

■自動車解体

【県内全域】

スクラップ価格がやや上昇の気配あり。新車販売対前年割れが続いており、廃車発生台数も少ないことから、仕入れ単価の高止まりが続いている。

■乾物卸売

【県内全域】

景況の変化は引き続き低調。4月30日時点全国生産量対前年比14%、金額131%。千葉は同生産量117%、同金額126%。2年連続の生産量の減少により特に下物強い相場で推移している。

■卸売

【茂原】

気候の変化で気分的には楽になりつつも、消費者の消費意欲が起こりそうもないのです。統計的には上昇しても末端ではまだまだである。

■電気機器小売

【県内全域】

景況の変化について、ソニー、シャープが赤字で、パナソニックは7、8兆円の売り上げで2千数百万の黒字を出し家電メーカーを二分した。

■青果卸売

【千葉市】

天候不順のため、入荷が安定せず、近年にない高値相場となり売上は伸びたものの、まったく利益を取れなかった月となった。

■小売

【東金】

景況の変化について、ファッション関連品は、件数が減少傾向。日用品関連は、動いている。が客単価の減少傾向続いている。食品関係は、メーカー等の値上がりあり。これに付随して飲食店も値上げ傾向。

■小売

【野田】

景況の変化は、食品値上げの影響なのか、食料品の売上が特に低迷した。衣料品の高額商品の売上が伸びない。

■小売・サービス

【柏】

消費税が上がって1年経過したが、そろそろ売上伸びて良さそうなものだが、個人消費全く伸びていない。1店のみ微増したようだが他は良くて不変業、

業種によっては大幅落ち込みの業種も見られる。

■一般廃棄物処理

【千葉】

繁忙期を終え、前月比は減少しましたが前年同月と比べると良い結果となりました。

■建設

【県内全域】

景況の変化について、日銀の超金融緩和（80兆円ベースの資金供給）が継続されていることから、緩やかな回復基調にあるとされ、中小企業の資金繰りがリーマン・ショック前の水準まで回復した等の報道がなされているが、地方の中小企業の実感としては「まだまだ景気回復を肌で感じるところまでは来ていない」との声が多い。

■建設

【市川】

景況の変化について、4月は公共事業の発注がないため、全体的に落ち込んでいる。

■貨物運送

【野田】

組合の事業活動等について、（重点事業の動向・財務状況等）Gマーク取得研究。

■輸出入

【県内全域】

景況の変化について、4月の売上は前月比は増加、前年同月比も増加であった。